

## 第 12 章 平成 27 年度決算報告

### 1 概 要

当院は、地域の基幹病院として富士宮市民をはじめ山梨県を含む近隣市町住民の高度かつ多様化する医療需要に対応し、良質な医療を提供すべく、医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、開業医との病診連携を促進し、また施設及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

当院も近年の全国的な医師不足、医師の大都市や大病院への偏在化の影響等を受け、一部の診療科において診療体制の縮小を余儀なくされ、昨年度に引き続き純損失を計上しました。

このような状況のなか、麻酔科及び小児科の常勤医師の確保や各診療科における積極的な入院及び外来患者の受け入れ、また昨年度策定した富士宮市立病院経営改善計画を実施し、収益が増加したことにより、純損失が昨年度に比べ半減する結果となりました。今後も医師確保対策を最優先課題としながらも、病院職員一丸となって経営改善に取り組んでおります。

診療体制が縮小している整形外科において、正規医師 1 人体制のなか、手術件数 177 件(前年度比 149 件増、532.1%増)、入院患者数は 3,243 人(前年度比 3,237 人増、53,950%増)と前年度と比較して、多くの患者さんの治療に当たりました。しかしながら、依然として二次救急の患者受け入れについては、当院の地域医療連携室や救急室、富士宮市救急隊、救急医療センター並びに開業医が連携し、県東部から中部地区の入院施設のある病院に、当市の整形外科関連の患者を受け入れていただいております。患者の負担軽減に努めております。

また、将来の医師及び看護師等の確保目的として平成 25 年度から実施している「富士宮市医学生修学資金貸与事業」及び「富士宮市看護学生修学資金貸与事業」では、新たに医学生 1 人、看護学生 10 人に対して修学資金の貸与をしました。

施設設備につきましては、施設の長寿命化の一環として、平成 24 年度から順次老朽化した空調設備の更新を計画的に実施していくこととしており、本年度はナースステーション系統の空調設備機器等を更新しました。

医療機器につきましては、PACS システム・採血管準備装置等を更新し、最新の医療機器による効果的な検査治療に対応できるよう務めました。

入院部門では、入院患者一人一日当たりの診療報酬額は前年度と比較して 1,435 円の増額と延べ入院患者数の増加（前年度対比 2,665 人 3.1%増）により、入院収益は、265,528 千円（5.9%増）の増収となりました。また、外来部門では、外来患者一人一日当たりの診療報酬額は前年度と比較して 3,928 円の増額と外来患者数の増加（前年度対比 6,318 人 4.4%増）により、外来収益は、704,765 千円（27.8%増）の増収となりました。

一方で医師数及び患者数の増加等により給与費 100,913 千円（2.3%増）及び材料費 628,287 千円（30.0%増）の増加となりました。この結果、平成 27 年度は 470,281 千円の純損失となり、繰越欠損金 772,367 千円を加えた当年度未処理欠損金は 1,242,649 千円となりました。

### 2 業 務

#### (1) 事業収入に関する事項

医業収益は、前年度対比 13.7% (973,502 千円) 増加し 8,086,942 千円となり、病院事業収益全体では、前年度対比 12.1% (954,275 千円) 増加し 8,873,078 千円となりました。

#### (2) 事業費に関する事項

医業費用は、前年度対比 8.1% (672,959 千円) 増加し 8,972,994 千円となり、病院業費用全体では、前年度対比 5.5% (487,992 千円) 増加し 9,343,360 千円となりました。

### 3 会 計

#### (1) 重要契約の要旨

平成 26 度中の契約のうち 1 件 100 万円以上の契約は、以下のとおりです。

(単位：円)

ア 建設改良費

契約の内容	金額	契約の相手方
平成 27 年度富士宮市立病院ナースステーション等系統空調機(チラー)更新工事(工事費)	61,776,000	㈱テクノ菱和静岡支店
厨房消火設備更新工事(工事費)	4,752,000	オブリック㈱

イ 医療器械器具

(単位：円)

契約の内容	金額	契約の相手方
PACSシステム	149,040,000	㈱八神製作所三島営業所
採血管準備装置一式	29,376,000	協和医科器械㈱沼津支店
硝子体手術器具	24,624,000	同上
超音波診断装置	19,440,000	㈱オズ富士営業所
自動ジェット式超音波洗浄装置一式	13,500,000	㈱八神製作所三島営業所
超音波診断装置	12,960,000	協和医科器械㈱沼津支店
多用途透析用監視装置(3式)	10,530,000	㈱ムサシエンジニアリング静岡営業所
自動包埋装置	6,264,000	中北薬品㈱三島支店
超音波診断装置	4,633,200	㈱オズ富士営業所
個人用多用途透析装置	4,536,000	㈱ムサシエンジニアリング静岡営業所
ホルター心電図解析システム	4,104,000	協和医科器械㈱沼津支店
糖尿病検査システム	3,672,000	㈱スズケン富士支店
下部消化管汎用ビデオスコープ	3,580,200	協和医科器械㈱沼津支店
上部消化管汎用ビデオスコープ	3,580,200	同上
輸液ポンプ(14台)	3,326,400	㈱八神製作所三島営業所
3クランクギャッジベッド(10台)	2,677,320	㈱いわしや錦織医科器械
除細動装置	2,430,000	㈱八神製作所三島営業所
AED(4台)	2,376,000	同上
気腹装置	1,944,000	協和医科器械㈱沼津支店
DMA T 装備(5式)	1,728,000	同上
ボーステーブル(2台)	1,641,600	同上
電動リモートコントロールベッド(3台)	1,274,940	㈱いわしや錦織医科器械
牛乳保冷庫	1,056,240	ニチワ電機㈱

ウ 備品

(単位：円)

契約の内容	金額	契約の相手方
医事会計システム	9,936,000	日本電気㈱沼津支店
医用画像表示用ディスプレイ一式	7,720,920	同上
再来受付機器一式	5,014,440	同上
公用車(スズキエブリイ)	1,152,760	㈱渡邊自動車商会

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

企業債は、高度医療機器整備事業債 197,800 千円を借りました。  
なお平成 27 年度中の企業債の概況は以下のとおりです。

借入先	前年度末 未償還残高	本年度借入額	本年度償還額	本年度末 未償還残高
地方公共団体金融機構	0	197,800,000	0	197,800,000
計	0	197,800,000	0	197,800,000

イ 一時借入金

該当事項はありません。

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項はありません。

4 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。